

東海地区協議会 2020年度

会計監査人 ご挨拶

会計監査人 今井 悠一朗

戦後間もなくから、責任と情熱をもった青年有志による明るい豊かな社会の実現のためJ C運動が始まりました。ひとづくり、まちづくり、教育、国際社会、環境など様々な分野において、時代によって人は変わり、手法や表現は異なっても、創始の志は脈々と受け継がれ、今日まで運動が継続されてきました。それは先輩方の多大なる努力により健全な組織運営が行われてきたからに他なりません。次世代にこの組織をつなげるためには、健全な財務体制の維持とガバナンスの強化といった社会的責任を果たしていく必要があります。

私は会計監査人として、2020年度東海地区のすべての事業・運動が効果的な展開するために、東海地区82会員会議所から会費を拠出していただいていることを自覚し、その期待に応えるよう助言・指導をするという使命があります。そのためには、適正かつ透明性のある会計処理の支援とコンプライアンスの徹底、事業目的に対する達成効果を最大限に発揮することができた運営基盤の確立へと組織を導いていく必要があります。

また、適正運用並びに統一会計基準の遵守と管理ができるよう指導を徹底して行い、組織運営を財政面から支え続けることで、公益目的事業を展開する組織体に求められる明朗かつ厳格な財務体制を確立することだと考えます。そして、事業展開に相応しい支出や費用対効果であるかを監査及び検証することが、各事業の目的に対する達成効果を最大限に高めるとともに、持続可能な組織として確立するために求められることだと考えます。

結びに、鳴海会長の掲げる「誰もが輝き 希望溢れる 東海の創造」に向かうすべての運動において、存分に効果が生み出されるよう、厳格かつ透明性な会計監査を行うことで支援をしていくことをお誓い申し上げ、会計監査人の挨拶とさせていただきます。